

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

存在理念

資源リサイクルによる鉄づくりを原点として、新たな社会的価値の創出に挑戦

鉄鋼製品販売量
80万トン時価総額
1,000億円ROE
10%連結経常利益
150億円

② 中長期の経営戦略

1. 鉄鋼製品80万トンの販売

新電気炉の生産性向上、CC生産性向上、スクラップヤード・製品ヤード拡張で3年約120億円投資。グリーンスチール開発と営業強化で新規ユーザー獲得

3. 持続可能な基盤整備

人的資本戦略充実、DX戦略、ガバナンス強化、バランスシート効率化、環境・防災対応で長期成長の企業基盤構築

2. 脱炭素対応

2050年カーボンニュートラル、2030年度温室効果ガス46%削減(2013年度比)を目指す。省エネ設備投資と再生可能エネルギー確保でCO2削減進める

4. グリーンスチール開発

エコリーフ取得、オフサイトPPA導入。CDP調査で気候変動・水セキュリティ部門B評価取得。付加価値訴求に注力

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性

- ・ 米国通商政策の影響と中国経済低迷懸念への対応
- ・ 国内厚板市場の人手不足による建築需要低迷対応
- ・ 海外経済減速に対する事業持続性確保

② 新電気炉の安定稼働

- ・ 2025年1月製鋼工場事故による生産休止からの回復
- ・ 新電気炉性能を発揮した効率的操業実現
- ・ AI検収システム導入による品質確保

③ 脱炭素対応の加速

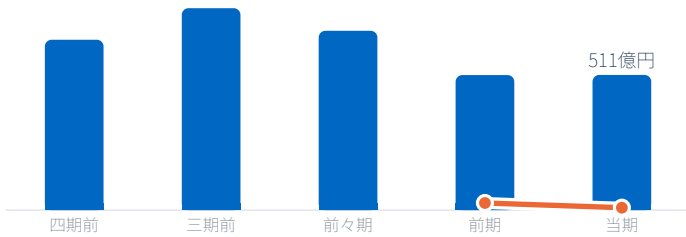
- ・ 顧客の脱炭素ニーズへの対応強化
- ・ 2030年度温室効果ガス46%削減達成
- ・ グリーンスチール市場投入と付加価値化

面接で使えるポイント

- ・ 新電気炉による資源リサイクルと環境保全への貢献で、循環型社会構築に寄与する事業展開に挑戦できる
- ・ 2030年度温室効果ガス46%削減(2013年度比)というカーボンニュートラル目標に向けた脱炭素経営戦略に参画
- ・ 2026年度までに鉄鋼製品販売80万トン達成に向けた戦略投資約120億円を推進する成長企業への挑戦機会

証券コード 5461

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
511億円営業利益率
1.8%財務健康度
64点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 59.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
706万円

鉄鋼内 22位/38社

平均年齢
41.1歳

鉄鋼内 23位/38社

平均勤続
18.4年

鉄鋼内 15位/38社

女性管理職
0.0%

鉄鋼内 31位/32社

男性育休
57.1%

鉄鋼内 24位/32社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

